

松っ子

～かしこい子・やさしい子・たくましい子～
ゆめ おもいやり げんき



令和8年2月16日
大村市立松原小学校
学校だより No.16
文責：校長

「『こどもまんなか!』を想う…」講演会について (学校運営協議会主催)

2月8日(日)午後、長崎県社会教育支援「草社の会」より ●● ●● 先生をお招きして講演会が開催されました。学校教育・教育行政・社会教育等に関する豊かな経験を有する先生から、県内のコミュニティ・スクールの取組事例とあわせて、「こどもまんなか」の地域・学校づくりについてお話がありました。ご紹介します。

- ◆ 子育てについて…大人の指示が過剰になると、子どもは考えなくなる。子どもの話を信じることは大事だが、受容が過ぎると、子どもはワガママになる。親が「したくてもしてはいけないこと、したくなくてもしないといけないことがあること」をしっかり教えることが基本である。
- ◆ 人が育つ土壌を耕すこと、人がつながり元気を創り出すことが大事…大人が故郷について「こんなところには住んでおられん…」と言うようでは、未来に希望が持てない。まず、大人(親も教員も)が故郷のよさを知り、自信を持つことが必要である。
- ◆ 松原には、すでにいろいろな組織・団体があり、取組がある…地域の少子・高齢化、過疎化が進んで今よりも厳しい状況になる前に、「子どもたち・地域のために何をするか」考え、合理化することが不可欠。そのために、それぞれの組織・団体について、互いを知るところから始めましょう!

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校運営協議会を設置した学校のことです。この協議会を設置することで、保護者や地域の皆様のご意見等を学校運営により反映させることができます。松原小では、定期的に協議会を開催し、学校課題についての情報共有や「もちつき祭」の計画・実施など、「人がつながり、元気になる」取組が続けられています。

松原小CS、学校運営協議会の取組に引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

学校歳時記【2月13日(木)・14日(金)の授業参観】



できるようになったこと…「服たたみ」「鉄棒」…や地域での学び、自身の成長についてなど、各学年の多種多様な発表等がありました。ご参観、ありがとうございました。

【2月後半から 3月の主な行事】

- 2月18日(水)
 - ・学校運営協議会
- 21日(土)
 - ・郡中校区PTA講演会
- 26日(木)
 - ・和楽器演奏
 - ・民生児童委員懇話会
 - ・ハイタッチリレー
- 3月2日(月)
 - ・読み聞かせ
- 3日(火)
 - ・感謝の会・6年生を送る会
- 17日(火)
 - ・卒業式